

エンジョイライフ

こんにちは、エンジョイライフです（・▼・）ノ一段とあたたかくなり、日中は汗ばむほどの陽気になってきましたね。皆さん、連休の計画は決まりましたか？天皇陛下が4月に退位されることとなり、10連休になるのだとか、新しい年号はどうなるのかなど話題になっていますね。そもそも、新天皇に皇位継承されると、なぜ年号が変わるのでしょうか？今回は、そういったことをまとめてみました★★

日本で正式に年号が使われ始めたのは飛鳥時代、645年の大化の改新からだと言われています。1300年以上も前のことだったんですね。その後、天皇が交代する度に新たな年号がつけられていったのですが、長い間、それ以外にも度々年号が変更されることがありました。それは例えば、何か大きな吉兆があった場合や大災害・戦乱などが起こった場合にも年号を変えていました。これは、新たな名前をつけることによって、時代の流れを変えようとする試みだといえます。明治になると、明治政府によって「一世一元の詔（いっせいいちげんのみことのり）」が配布されます。一代の天皇に一つの元号を決めるという意味で、これ以降は以前のように世の中の出来事に応じて年号が変わるということはなくなりました。その後昭和54年の元号法により「皇位の継承があった場合に限り定める」というように定められ、現在に至っています。



ネットでは様々な予想がされている新年号。調べてみると、政府は新たな元号は「1文字15画を上限とし、画数ができるだけ少なく、なじみやすい漢字を用いる」と公表しておりました。また、平成、昭和、大正、明治の頭文字である「HSTM」と被らない年号です。

～新年号予想アンケートモニター結

1位 平和

（読み方：へいわ・たいわ・たいか）

1番人気のあった年号は「平和」でした。

近年心を痛める事件が数え切れない程起きていることを考えると、この熟語が1番人気だったことも納得しますね。

2位 安久

（予想される読み方：あんきゅう）

安久が2位になりましたが、一番新年号にありそうな単語でもあります。この安久は、2016年の8月10日にTwitter上でデマのツイートがされてから、急速に広まりました。

3位 太平、泰平、大成

泰平（予想される読み方：たいへい）大成（予想される読み方：たいせい）

どれもちょっとやそっとじゃ動じない、しっかりとした国を想像しました。

特に「太平」、「泰平」は、天下泰平（太平 とも）という四字熟語があり、その意味が「世の中がきわめて平和で、よく治まっている様」を指すので、縁起もいいですね。

